

泉福寺と木之崎館

《木之崎》

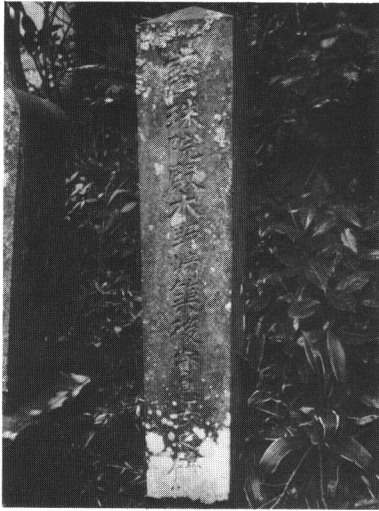
木之崎前屋敷に、木之崎館があつて、今も土壘の一部が残っている。

二階堂簇下、熊田伊豆守善範、木之崎村に館を築いて、木野崎氏を称したという。子孫、築後守善隆、天正二年、木之崎末子五郎内にあつた寺を、村のこの山に移して、宝珠山泉福寺と号した。天正十七年伊達政宗に攻略され、城を退去したという。

息女は、一族の家臣とともに、村中にひそみその難をのがれたという。泉福寺墓地にお姫様の墓が今も残っている。

慶長元年、長沼菖洞宗永泉寺六世、喜州宗観大和尚が開基となり、後に横田領主溝口氏の菩提寺となつて繁栄したが、明治二年火災にかかり昔の面影を失つた。境内の大木には、火災の傷跡が今も大きく残っている。

〔「梓衝村村史」より〕



木野崎築後守息女の碑